

学校法人 東京聖徳学園

聖徳FLASH

第118号

令和4年2月1日

発行 学校法人 東京聖徳学園 千108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)



聖徳学園ホームページ https://www.seitoku-u.ac.jp/gakuen/

- 聖徳大学大学院 聖徳大学附属小学校
聖徳大学教職大学院 聖徳大学附属幼稚園
聖徳大学 聖徳大学附属第二幼稚園
聖徳大学短期大学部 聖徳大学附属成田幼稚園
聖徳大学幼児教育専門学校 聖徳大学附属浦安幼稚園
光英VERITAS高等学校 聖徳大学三田幼稚園
聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校 聖徳大学八王子幼稚園
光英VERITAS中学校 聖徳大学多摩幼稚園

聖徳FLASH

短大総合文化学科 第八回地域貢献活動の実践発表会を開催

十二月十日(金)本学にて短大総合文化学科一年生による「地域貢献活動の実践発表会」が開催されました。

一年間の活動の集大成といふこともあり、どのグループの発表も内容が濃く、地域への愛着が感じられる企画・発表揃いでした。



白井氏による講評

本学の短期大学部では、「社会貢献の理論と実践」および「地域貢献活動の実践」が、全学共通科目区分として教養科目に位置付けられています。この科目は、「地域を活性化するための活動を通じて、課題発見力や主体性、実践力、協働する力を身につけること」、また「報告書作成や発表会の開催を通じて文章表現力、プレゼンテーション力を身につけること」を目的としています。

今年度は、一年生の六グループが春・秋学期の通年で活動し、今回はその成果をスライドや動画で発表しました。



全グループによる発表の後、松戸市役所総合政策部政策推進課白井薫氏より講評と松戸市長賞の発表があり、市内の神社仏閣を紹介した「神社仏閣と防災」が受賞しました。講評では「企画立案も大変ですが、もっと重要なことはそれが実践できたかどうかです。また、地域貢献活動は学んできたことをどう生かすかが大切で、この活動は皆さんの今後の糧となるでしょう」とエールが贈られました。また最優秀活動賞は、参加者による投票により「AMULET DOLL(あみゆれっと・どーる)」(園児から古着とデザインを募集し、実際に制作する活動)が選ばれました。この活動を通して、学生は「一つのことをみんなでやり遂げたことでチームワークが生まれ達成感が得られた」「松戸市の良い点や課題点が見つかった」など自身の成長や気付きを挙げており、社会に羽ばたくステップとして、大変有意義な活動となりました。

INDEX
幼稚園...12
大学院・大学短大...12, 2, 3, 4, 8
幼児教育専門学校...5
光英VERITAS中・高...5
取手聖徳女子中・高...6
小学校...6
幼稚園...6
インフォメーション...6, 7, 8

なお、各グループの詳しい活動内容は、総合文化学科十二月のブログに掲載されていますので是非ご覧ください。



最優秀活動賞 AMULETグループ

- 参加グループと受賞
最優秀活動賞 (参加者の投票により決定)
企画名: AMULET DOLL (あみゆれっと・どーる)
AMULETグループ
総合文化学科長賞
企画名: 岩瀬自治会のイベントを通じて世代間の交流を図ろう
グループ名: 岩瀬自治会との交流
松戸市長賞
企画名: 神社仏閣と防災
グループ名: 神社仏閣と防災チーム
企画名: 南房総絵本制作
グループ名: 絵本制作
企画名: 図書館活性化2021
グループ名:
企画名: 図書館活性化チーム2021
企画名: 製菓・フードの名品づくり
グループ名:
製菓・フードの名品づくり

三田地区再開発事業

校庭のケヤキを移植・伐採

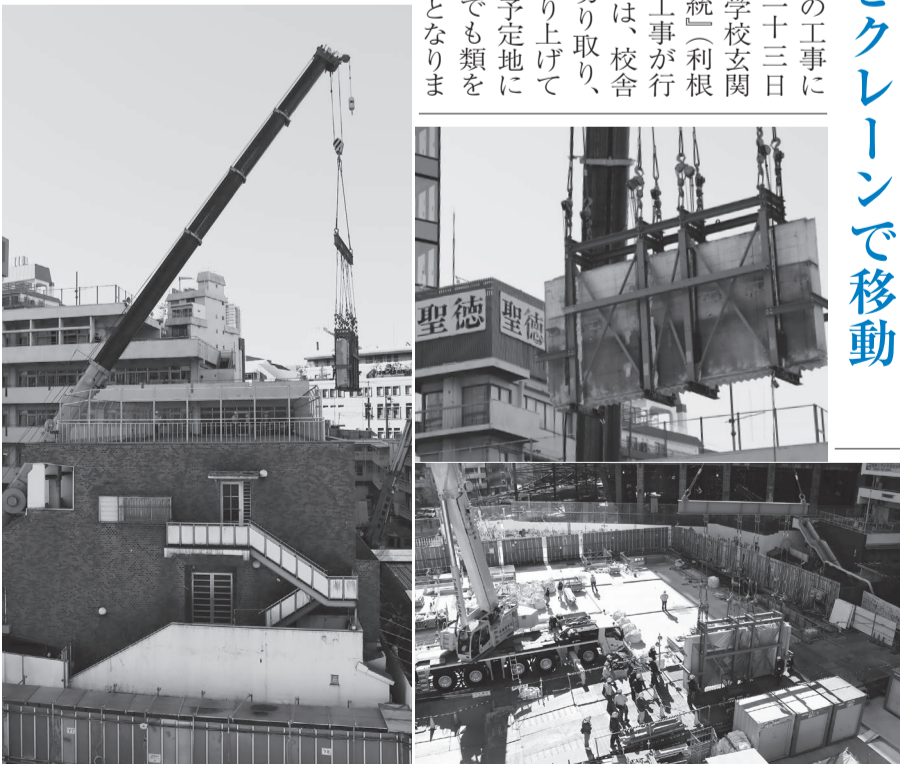
港区三田地区の再開発事業に伴い、聖徳大学幼児教育専門学校および三田幼稚園の校舎・園舎は、令和五年四月、隣接地への建て替えが決定しています。この移転計画に先立ち、校庭・園庭の二本あるケヤキのうち一本は移植、もう一本は伐採されることが決まりました。十二月五日(日)、学園および工事関係者は御田神社でお祓いを受けたのち、長年にわたり子どもたちを見守ってきたケヤキの木は伐採されました。なお、伐採されたケヤキは新校舎の一部として生まれ変わる予定です。



壁画をクレーンで移動

また、この一連の工事に合わせ、十二月二十三日(木)には、同専門学校玄関ロビーの壁画「伝統」(利根山光人作)の移転工事が行われました。これは、校舎の壁画を壁ごと切り取り、巨大クレーンで吊り上げて隣接する新校舎の予定地に運ぶという、全国でも類を見ない特殊な工事となりました。

当日は、早朝より準備が行われ、細心の注意が払われる中、鉄骨で養生された壁画が、巨大クレーンにより作品を損ねることなく無事新校舎予定地に移されました。



令和3年度 公務員採用試験合格実績 速報!
今年も多くの現役生が夢を実現しています
公立学校教員 合格者22名
公立保育士 合格者67名
各採用試験合格者

第五十二回 千葉県私学教育功労者表彰

第五十二回千葉県私学教育功労者表彰式が十二月四日(土)、アパホテル&リゾート東京ベイ幕張(千葉市)にて行われ、本学園より、十一名の先生方が、千葉県の私学教育の振興発展への功労

者として千葉県私学教育振興財団表彰を受けました。



聖徳大学 児童学部長 通信教育部児童学部長 教授 大成 哲雄



聖徳大学 語学教育センター 教授 ヴィンセント・ピーターマキアロル



聖徳大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科長補佐 准教授 須田 仁



聖徳大学 短期大学部 保育科 教授 岸田 真弓



聖徳大学 保健センター 教授 鈴木 悦子



聖徳大学 短期大学部 総合文化学科長 教授 荻輪 裕子



光英VERITAS 中学校・高等学校 教諭 高島 政文



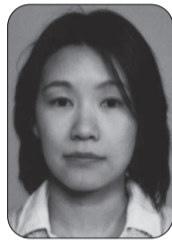
光英VERITAS 中学校・高等学校 教諭 目崎 明彦



光英VERITAS 中学校・高等学校 教頭 関根 智秋



聖徳大学 附属小学校 教諭 堀田 文絵



聖徳大学 附属小学校 教諭 久保田 直子

第52回 祝 千葉県私学教育功労者表彰式典

公益財団法人千葉県私学教育振興財団



(後列左より): 川並芳純常務理事、ヴィンセント先生、高島先生、目崎先生、関根先生、大成先生、辻大学事務局長 (前列左より): 鈴木先生、荻輪先生、堀田先生、久保田先生

● 香和会 北関東・南関東支部合同交流会 車いすフェンシング日本代表 本学卒業生 松本 美恵子氏が講演

十二月五日(日)、本学香和会(同窓会)北関東・南関東支部合同交流会が行われ、来校・オンライン併用による開催で教職員・卒業生約六十名が参加しました。今回は、東京二〇二〇パラリンピック車いすフェンシング競技に出場された松本美恵子氏(平成二年短大文学科英文専攻卒)を招き、

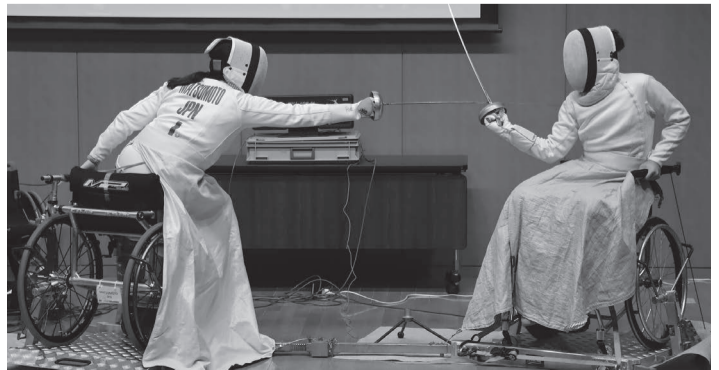
「挑戦—東京パラリンピックからパリへ—」と題した特別講演が行われました。



松本美恵子氏

松本氏は本学卒業後、二年間の銀行勤務を経て、英語教諭を志しイギリスに留学しますが、祖父の病気を契機に看護の道に進路を変更しました。講演ではこのチャレンジ精神に満ちた半生を紹介されました。その後、結婚、

出産し、看護師として仕事に家庭にと日々奮闘する中、難病のギラン・バレー症候群という病魔に襲われます。手足に障害が残りましたが、息子の康雅君が小学生になりフェンシングを始め、親子の時間を持たせたいと自分も車椅子フェンシングを始め、そして見事日本代表として二〇二〇パラリンピックへの出場を果たしました。



する松本氏の姿に、会場は感動に包まれました。

● 令和二年度文化講演会 元オリンピックピック陸上選手・高橋 千恵美氏を迎えて

一月十四日(金)に川並香順記念講堂にて「聖徳教育I」の文化講演会を実施しました。これは春に社会へと巣立つ卒業年度の学生を対象に、各分野で活躍する著名人を招いた講演会で、昭和四十六年(一九七一年)から続いています。コロナ禍により、昨年同様今年もZoomを使用したオンライン開催となりました。

高橋氏は昭和五十一年(一九七六年)宮城県栗原市に生まれ、高校時代は強豪聖和学園高等学校にて、全国高校女子駅伝に二度出場し注目されました。高校卒業後は、地元の実業団で競

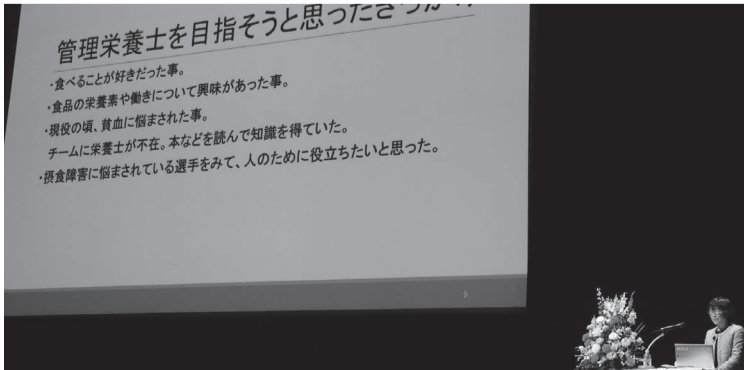
今年、二〇〇〇年シドニーオリンピック陸上一〇〇〇〇m代表で、本学人間栄養学科卒業生の高橋千恵美氏を迎え、「アスリートから管理栄養士をめざして」と題し、講演があり



高橋千恵美氏

現役引退後は、母校で後進の指導にあたり、二十一年(二〇〇九年)一念発起し、本学のアスリート・セカンドキャリア支援特別奨学生の第一号として人文学部人間栄養学科(現:人間栄養学部)に入学しました。そして学びのプランクをもとめ、四年で卒業し、その年の管理栄養士国家試験に合格。現在は管理栄養士として多方面で活躍されています。

講演では、現役時代重い貧血に悩まされたこと、チームに栄養士がおらず、独学で栄養の知識を得ていたこと、体重制限などから摂食障害になる選手がいたことなど、管理栄養士を目指したきっかけを話されました。そして自らの体験をもとに「練習は嘘をつかない」「あきらめない気持ちが大切」と後輩たちに力強くエールを贈ってくれました。



管理栄養士を目指そうと思ったこと
・食べることが好きだった事。
・食品の栄養素や働きについて興味があった事。
・現役の頃、貧血に悩まされた事。
・チームに栄養士が不在。本などを読んで知識を得ていた。
・摂食障害に悩まされている選手をみて、人のために役立ちたいと思った。

音楽学部・大学院音楽文化研究科 第二十三回 定期演奏会

十二月四日(土)、川並香順記念講堂にて、音楽学部・音楽文化研究科定期演奏会が開催されました。

今年で二十三回目を迎える歴史あるこの演奏会。感染防止措置により学生及び教職員と出演者の保護者のみの入場となりましたが、ステージでは熱い演奏が繰り広げられました。

第一部の幕開けを務めたのは島津千歳さん(二年)のオリジナル作品「Fern」。コンピュータによる音楽だけでなく、ヴォーカロイドによる歌やアニメーションも取り入れた作品です。

続いてミュージカルステージです。最初に井上亜美さん(三年)の「リトルマーメイド」から「パート・オブ・ユア・ワールド」、続く佐々木菜結さん(三年)は「ミー・アンド・マイ・ガール」より「ワンス・ユー・ルーズ・ユア・ハート」を、二曲とも時折セリフを交えた親しみのある演奏でした。

続いて電子オルガンによるステージ。最初は王天姣さん(四年)と多田希望さん(四年)のデュエットで「ピアノとオーケストラのため」の夏の夏へを美しく壮大なイメージで、続く多田希望さんの自作曲「灯」は変化に富んだ内容で一部のラストを華やかに飾りました。

第二部は趙三川さん(博士前期二年)の「パイプオルガンの演奏で幕を開けました。ブクステフーデの「プレレディウム」を男性らしい



四重唱

力強い演奏で迫力ある音色が場内に響き渡ります。続いて井上陽さん(三年)によるフルート独奏。美しく澄んだ音色が場内を魅了します。ピアノ伴奏は大竹玖実さん(二年)です。続くサクソフォン独奏は前山桃萌さん(三年)です。甘い音色が印象的でした。

の一場面を思い起こさせる演出と歌声で会場を圧倒しました。続くピアノステージはプロ・アーティストメジャー在籍の川村綾音さん(二年)による「詩的で宗教的な調べ(S173)より「パレストリーナによるミゼレレ」」続いて「二つの伝説(S175)より「波の上を渡るパオラの聖フランチェスコ」でいづれもリストの作品です。次に安達若菜さん(四年)によるラフマニノフ作品から「幻想的小曲集作品3」より「悲歌」と「前奏曲「鐘」」です。続いて同じく四年生金井遙さんの演奏でベートーベンの「ピアノソナタ第31番変イ長調作品110」です。難曲を高度な技術で披露しました。



出演者全員で記念撮影

続いて四人の歌姫によるステージです。最初に岩崎美春さん(四年)による歌劇「ドン・ジョヴァンニ」から「あそこで手を取り合って」、そして松丸葉月さん(博士前期二年)による歌劇「フィガロの結婚」から「ひどいぞ！なぜこれまで」を美しくハリのあるソプラノで聴かせます。ここでの二重唱は青戸知先生との共演です。続いて歌劇「ラ・ボエーム」から「さよなら、朝の甘い目覚めよ！」を川並和香さん(博士前期二年)、山崎葵さん(博士前期二年)に、布施雅也先生と青戸知先生が加わった四重唱で、オペラ



定期演奏会の模様は音楽学部ホームページにて動画をご覧ください。

第六回 「高校生の体験発表会」を開催

本学主催による第六回「高校生の体験発表会」を開催しました。

この体験発表会は、多様な学校や学科の枠を超えた交流を通して高校生の教育活動がさらに深化することを目指しています。本年度は日程をステージ発表型とオンライン発表型の二つに分けて実施しました。

ステージ発表型は、十一月二十日(土)に本学の香順メディアホールにて開催しました。昨年度はオンラインのみの実施でしたが、本年度は感染対策を徹底し、ステージ発表型の発表会を実施しました。

当日は十六校より十八団体八十三名の高校生、および引率の先生方が参加しました。発表は午前と午後で入れ替え制とし、三密を避け、会場の消毒を行い感染対策に努めました。二年ぶりの発表でしたが、高校生の熱気や迫力が伝わってきました。



案内看板とプレートの設置

オンライン発表型は十二月十八日(土)にNODを用いて開催し、十八校より二十団体が参加しました。

当日は事前に作成した映像を配信したことで円滑な進行となり、また伝わりやすい動画を作成するというステージ発表とは異なる高校生の工夫が見られました。両日ともに委員会活動や部活動、国際交流、研究活動等の高校生の多様な体験やそれらを通して得た学びに関する発表が繰り広げられました。

最も優れた発表に贈られる聖徳大学長賞はステージ発表型では、千葉県立安房拓心高等学校の「在来大豆普及プロジェクト」、千葉県立薬園台高等学校の「薬草園復活プロジェクト」に、オンライン発表型では千葉県立松戸向阳高等学校の「リモートによ



チバテレのインタビューを受ける安房拓心高校の生徒

る介護実習」、千葉県立柏南高等学校の「エンパワーメントプログラム体験発表」、千葉県立市川高等学校の「市川昇高等学校のユネスコスクール活動について」に授与されました。



柏南高校の発表動画作成の様子

本学では、地域連携社会貢献センターが中心となり、今後も頑張る高校生を応援していきます。

短大二年生が クリスマススイズイベントを実施

十二月二十四日(金)、短大二年生を対象としたクリスマススイズイベント「サンタになって学科の壁を越えよう Mission!クリスマスツリーを完成させよう！」を開催しました。

このイベントは、「コロナ禍で、学生時代の思い出が少ないまま卒業を迎えてしまおう短大二年生に思い出づくりを」と、代表学生が中心となり企画されました。「サンタやトナカイの格好をする」というドレスコードを設け、学内をスタンプラリー形式で巡るオリエンテーリングと、川並香順記念講堂での学びの発表会の二部構成で実施しました。

オリエンテーリングでは、学内のさまざまな教室を



巡ってスタンプを集め、最後に他の学科やクラスの学生とペアリングして全員で作ったオーナメントをゲットし、ゴールのクリスマスツリーに飾りました。また当日は、川並弘昭記念図書館の貴重書展示ラウンジを公開し、学生からは「美術館顔負けの場所が聖徳にあり驚いた」という声も聞かれました。

今回は特別ミッションとして「学長室を探せ！」と題し、学長室を探し当てて訪問する企画もありました。イベント開始早々に、サンタの格好をした学生たちが学長室を探し当て、川並弘昭学長とこやかに記念写真に納まっていました。



学長室にて

第二部は、川並香順記念講堂で保育科のピアノの連弾演奏と表現あそび発表会を実施しました。ピアノの連弾はクリスマスソングを

中心としたプログラムで、完成したクリスマスツリーと相まって素敵な時間と空間を演出しました。また表現あそびでは、学生たちは自作の衣装を身にまとい、この日のために練習も重ねて臨んだ発表は素晴らしい出来栄でした。



学生たちにとって、思い出に残る一日となりました。



確定申告で「寄附金控除」の手続きをお忘れなく。

聖徳学園へのご寄付は、所得税法上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。個人の方のご寄付につきましては、「税額控除」または「所得控除」が適用されます。確定申告の際に、どちらかをお選びください。

【確定申告書作成時の参考】

寄付金の種類	税額控除の場合：公益社団法人又は公益財団法人等に対する寄附金 所得控除の場合：上記以外の寄附金控除に該当する寄附金
「条例により指定した寄附金」の対象地区	都道府県：東京都・千葉県・茨城県 市区町村：八王子市・松戸市・成田市・浦安市・取手市 ※お住まいの地域が対象地区に含まれているかご確認ください。
寄附先の所在地	東京都港区三田三丁目4番28号
寄附先の名称	学校法人東京聖徳学園

今年の申告受付は二月十六日(水)より開始されます。手続きのお忘れがないようご注意ください。

募金だより

「聖徳教育芸術振興募金」寄付者芳名一覧

ご協力ありがとうございます

- 法人役員関係
 - 三〇〇,〇〇〇円 阿部 真美子 様
 - 三〇〇,〇〇〇円 川並 弘純 様
 - (二、六六〇,〇〇〇円)
 - 一〇〇,〇〇〇円 川並 芳純 様
 - (八〇〇,〇〇〇円)
 - 香和会関係
 - 二〇〇,〇〇〇円 長江 曜子 様
 - (四〇〇,〇〇〇円)
 - ひじり会関係
 - 二〇〇,〇〇〇円 高橋 博子 様
 - (八〇〇,〇〇〇円)
 - 教職員関係
 - 三七〇,〇〇〇円 宮川 三平 様
 - (四四〇,〇〇〇円)
 - 一〇〇,〇〇〇円 川並 孝純 様
 - (六〇〇,〇〇〇円)
 - 川並 珠緒 様
 - (八五〇,〇〇〇円)
 - 九〇,〇〇〇円 山本 真理子 様
 - (二一〇,〇〇〇円)
 - その他
 - 二〇〇,〇〇〇円 高橋 英雄 様
 - (一、四〇〇,〇〇〇円)
 - (一、三六六,〇〇〇円) 匿名希望者合計
 - 合計 三、一〇二,〇〇〇円
 - 累計 五三〇件 九八五九八、八二円
 - 教職員関係
 - 九、〇〇〇円 山本 真理子 様
 - (一六、〇〇〇円)
 - 合計 一六九,〇〇〇円
 - 累計 四〇件 三五、〇九二、五〇〇円
 - 香和会関係
 - 一〇〇,〇〇〇円 長江 曜子 様
 - (八〇〇,〇〇〇円)
 - 三〇,〇〇〇円 作道 訓子 様
 - 鈴木 初枝 様
 - (七〇,〇〇〇円)

「聖徳大学香和会五十周年記念奨学基金」寄付者芳名一覧

●お申し込み・お問い合わせ先
東京聖徳学園 募金課 TEL.047-3905-1111代
ホームページアドレス <https://setoku-u.ac.jp/donation/>

やはり親戚だった

トラとネコ

新しい年が明けました。今年も寅年ということ、トラにちなんだ絵本を紹介したいと思います。二〇一〇年六月私には国際協力機構(JICA)のシニアボランティアとしてネパール国立図書館に赴任しました。同じ月に福音館から刊行された『こどもとも』六五二号は、「むかしむかし、トラとネコはなかのよいしんせきでおなじもりにくらししていました」で始まるネパールの昔話「トラとネコ」の絵本です。大きなトラが子ネコに木登りを教えてもらうことから仲たがいに、トラの復讐を恐れたネコが森を出て、人の住む場所安住の地を得るといってお話です。ネコが穴を掘って懸命に自分の排せつ物を隠すのは、トラに気づかれないためだったとは。文は、プル・トゥリパティさんが幼い時に近所のおじいさんやおばあさんから聞いた昔話からの再話です。絵はいばやしまさこさんで、怖いはずのトラがちよつとほけた感じで味があります。滞在中に、ダンスインというお祭りの休暇を利用して私はJICAの仲間と一緒にアンナプルナ自然保護区を巡るトレッキングに出かけました。



名峰マチャプチャレ(魚の尾の意味): 筆者撮影

(館長 村山隆雄)

川並弘昭記念図書館・聖徳博物館 館長だより

心を合わせて、第6波を乗り越えましょう

現在新型コロナウイルスのオミクロン株は、日本を含めて、世界中で爆発的な感染拡大を起しています。オミクロン株は通常の株と比べて、スパイクタンパク質に三十カ所程度の変異が有り、このうち十五カ所程度の変異はウイルスが私たちの体に入り込む場所である受容体に結合する部分に存在します。そのため、オミクロン株は、通常の株に比べて私たちの体の細胞に入りこみやすい(感染しやすい)可能性が心配されます。また、潜伏期間がデルタ株(五日)に比べて三日と短い特徴があります。つまり、オミクロン株は、感染しやすく、感染が次から次へと広がります。また、オミクロン株は、系統樹から子どもたちにも感染しやすいアルファ株に近いことがわかっており、お子様への感染も懸念されています。

mRNAワクチンは、スパイクタンパクに対する抗体を作り、感染を抑え、重症化を防ぐ働きがあります。オミクロン株は、この

免疫の仕組みをくぐり抜ける可能性があります。オミクロン株に対する対策として、不織布マスク(お子様も二歳以上で可能なもの)をしっかりとつける、寒い時期ですが、暖かい衣類で防寒しながら換気をしっかりすることが、大変大切です。

また十二歳以上の皆様へのmRNAワクチンの三回目接種、十二歳未満のお子様への接種も大変重要であると思います。

(所長 宮川三平)

保健センター 所長だより

駆ける娘の背中と春隣

春隣

二月に入ると時折、東風が吹き、「春隣」を感じる日があります。

ここ数年の間、部員不足、参加標準記録の未達成など、さらには新型コロナウイルス感染拡大という様々な壁に阻まれ、久しく出場から遠のいておりました。しかし来年度においては有望な新入部員の加入により、出場の条件もクリアし出場可能な態勢が整います。

時々、学生たちの丸まった背中も伸びて、この風に押されて走る姿からも「春隣」を感じられます。そして同時に新入部員を心待ちし、思いを馳せる季節でもあるのです。その新入部員は少なくとも三名は確定しました。例年出場しておりました関東大学女子駅伝は、

冬が去って春が来るという意味から物事が好転することも意味すると言われています。コロナ禍の世も我が競技部においても、この

季節「鬼は外！福は内！」によって一応、来福となるのでしょうか(笑)

冗談はさておきまして、令和四年度は捲土重来を期して関東大学女子駅伝を目指して精進してまいります。相変わらぬご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方におかれましては、暦の上では春とは言え、寒い日が続きますので、ご自愛第一のほどお願い申し上げます。

走走
陸上競技部監督 佐藤 信春



聖徳大学陸上競技部 監督の部屋

40



幼児教育専門学校

学外研修代替プログラム

箱根バス旅行

十一月二十七日(土)、新型コロナウイルス感染症対策のため中止になっていた学外研修Ⅰ、Ⅱの代替プログラムとして、一部・二部の一、二年生が箱根へ研修旅行に行きました。往復の移動は、五分で空気が入れ替わる機能搭載のバス三台に分乗し、二つの座席を一名で使用する等、万全の感染症対策を取りました。一部一年生は前日に幼稚園実習を終えたばかりでしたが、その疲れを見せることなく、友達との久々の会話に花を咲かせていました。現地に到着すると、一行



芦ノ湖 遊覧船にて

はまず箱根の関所を訪れました。芦ノ湖では遊覧船に乗り、冷たい風に吹かれながらも船上から晩秋の紅葉を楽しみました。次に訪れた箱根園ではアザラシショーを鑑賞し、昼食には刺身や鍋が味わえる「箱根定食」を堪能しました。日帰りの小旅行でしたが秋の箱根を満喫することができ、学生たちは充実した表情で帰路につきました。

第六十五回グループ研究発表会

十二月十二日(日)、本校にて聖徳大学短期大学部との共同開催で「第六十五回グループ研究発表会」が行われました。グループ研究は、一グループ四〜七名の学生が一つのテーマを決め、この研究発表会を経て、一本の論文を仕上げます。本校から四グループ、短大から二グループが参加し、二十分の発表と十分の質疑応答の形で行われました。



「ジェンダーレス保育」など社会学、心理学の研究が発表されました。どれも



興味深い内容で、すべての発表が非常によく研究されており、近年稀にみる非常に聴きごたえのある発表で

した。グループ研究の目的である「協働する力」「一つのテーマを探究し尽くす」能力を磨き続けたことが研究成果に表れたのだと思います。また質疑応答では、会場の学生から多くの質問が上ががり、白熱した光景が見られました。

新型コロナウイルスの影響で、ゼミやアンケート調査もオンラインや電話対応で行うなど、学生も教員も制約がある中での研究でした。今回の研究結果は、現時点での仮説であり、学生はこれから社会に出て、子どもたちを通してこの仮説を検証していくようになりそうです。グループ研究の活動で得た、探求する力、課題を解決する力を社会でも発揮できることを期待します。

光英VERITAS中学校・高等学校

那須・会津方面修学旅行

十一月二日(火)から五日(金)までの四日間、高校二年生は、那須・会津方面への修学旅行を実施しました。那須は二〇〇年以上の歴史をもつ温泉地であり、日本を代表する保養地の一つです。また、会津は戊辰戦争で激しい戦場となり、「白虎隊」の悲劇など、幕末

鴨川研修

十一月八日(月)から十日(水)、中学二・三年生は鴨川研修を行いました。初日はマザー牧場に向かいました。動物に触れ合い、昼食をとる内に緊張感もとれ、いつもの明るい生徒たちの姿が見られました。畜産体験では、乳搾り体験に加え、係の方から畜産業の現状や問題点の説明があり、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。

二日目は鴨川シーワールドを見学し、シャチャやアシカのショーを楽しみました。夜はナイトツアーに赴き、学芸員の方が海洋生物の生態や夜の様子を話してくれました。昼間とは違う動物たちの様子を、



鋸山にて

小高い展望台からは、紅葉で赤く染まった山々の中に遠い昔の日本集落が浮かび上がる光景がとても印象的でした。その他、一行は東武ワールドスクウェア、喜多



方市内、会津若松城(鶴ヶ城)、那須ハイランドパークを訪れました。修学旅行の最後は、都内に場所を移し、ホテルニューオータニに宿泊しました。ティブルマナー講師の指導のもと、フランス料理のフルコース・ディナーを堪能し、生徒たちは緊張の中にも優雅なひとときを過ごしました。翌日は、最後に四〇〇年の時を重ねた日本庭園を見ながら朝食をとり、四日間の旅行は無事解散となりました。

修学旅行を通して生徒たちは様々な歴史文化に触れ、生きた学びには多くの収穫があったことと思います。

TGG体験学習

十二月九日(木)、中学二年生は、お台場のTGG(Tokyo Global Gateway)に英語体験学習に行きました。TGGは、海外をイメージして作られた街並みや教室環境が整った、グローバルな世界を体験できる英語学習施設です。生徒達は、一日中英語に囲まれ、ネイティブの講師とコミュニケーションを取り、積極的に授業に参加していました。



将来に必ず役立つ英語の世界を体験し、大変有意義な一日となりました。

取手聖徳女子中学校・高等学校

吹奏楽部

初出場で全国大会第三位!



今年度の春、本校吹奏楽部は「全国大会に行こう!」を合言葉に活動をスタートしました。しかし、満を持して臨んだ夏の吹奏楽コンクールでは、県大会金賞と惜しくも全国大会には届きませんでした。

部員たちはそこから多くを学びました。一人ひとりが今までの取り組みや考えを省み、様々な意見を出し合い決意を新たにしました。そして次の挑戦として、「第六回全国ポピュラーステージ吹奏楽コンクール東日本大会」へ初エントリーをしました。

途中、八月中旬には茨城県に非常事態宣言が発出され、練習は各自家庭での譜読みと個人練習という苦しい時期が続きました。大会一週間前、ようやく再開された一日

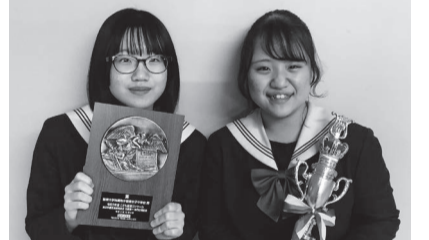
三年連続東日本大会出場

本校吹奏楽部は、コロナ感染拡大のため一昨年三月、出場を決めていた全国大会の辞退に始まり、コンクールや演奏会の相次ぐ中止により、モチベーションや演奏レベルの低下が懸念される日々が続いてきました。そんな中、「TBS」でも音楽コンクール「だけは形を変えながらも継続して開催されており、二時間の活動時間を大切に、練習に取り組みました。

その結果、東日本大会では「金賞」。見事全国大会出場への切符を手に入れました。迎えた十一月二十七日(土)、横須賀芸術劇場での「第六回全国ポピュラーステージ吹奏楽コンクール全国大会」。

員たちの唯一の目標となりました。この二年間で入部した部員は、コンクール出場経験はもちろんステージでの本番演奏経験がほとんど無く、音作りや曲作りの基本を一つひとつ確認しながらの練習は多くの時間を必要としました。

結果は、見事全国大会第三位を獲得しました。発表時の部員の様子は静かでしたが、後から徐々に実感が湧いてきたようで、帰りのバス車内は喜びの笑顔が溢れていました。この結果に満足することなく、今年も本校吹奏楽部は更なる飛躍を目指します。



出場を決めた後も、コロナ感染拡大の影響で十分な練習時間が確保できないなど、万全で臨んだ本番ではありませんでした。それでも生徒たちはベストを尽くし、「優秀賞(第二位)」を受賞することができました。

附属小学校

社会科授業研究

「考える」社会科とは

十一月九日(火)、五年二組で社会科の授業研究を行いました。暗記科目という印象の強い社会科ですが、現在は「考える」社会科に授業自体が変わってきています。

今回の学習問題は「ガソリン車は廃止し、電気自動車や燃料電池自動車、ハイブリッド車に完全移行することに賛成か?反対か?」でした。児童たちは事前にオンラインでの自動車工場見学や複数回にわたって意見の交換を行い、授業に臨みました。



当日はたくさんの教員が見学する中ということもあり、初めは緊張している様子

シンガポール南洋小学校とのオンライン交流会

十一月十六日(火)、五年生がシンガポールの南洋小学校とのオンライン交流会を行いました。この日までに、教員は児童たちと様々な準備を進め、本番に備えていきました。

準備は大きく二つありました。一つ目は学校紹介の動画作成です。児童たち自らが

最後の「振り返り」の時間には「電気自動車が当たり前になったら、本体価格も下がるとはならないか?」「将来的に充電スタンドが増えていくのではないか?」といった新たな疑問も生まれました。本校では、今後も児童たちと共に「考える」授業の実践を広げていきます。

日本語で考えた学校の紹介文を元に、日本語と英語を交互に収録をし、動画にしました。二つ目は日本「文化・芸術」「食事」「観光地」「祭り」の紹介をプレゼンテーション形式で発表するための準備です。調べ学習をしながら原稿を作り、英語と日本語を読む練習も行いました。児童たちはとても意欲的で、楽しみながらも真剣に取り組んでいました。

本番当日、児童たちは緊張した面持ちでスクリーンを見つめていましたが、その瞳からは「頑張るぞ」という意気込みも感じました。自分たちで作った学校紹介動画は南洋小学校の先生方にも好評で、皆うれしそうに話していました。そして、いよいよプレゼンテーションの時間がやってきました。四つのグループに分かれてのプレゼンテーションでしたが、児童たちは練習の成果をしっかりと発揮し、オンライン交流会は大成功となりました。



幼稚園短信

聖徳大学三田幼稚園

コロナ禍での誕生会

聖徳の各幼稚園では、誕生月を迎えた園児たちを全園児で祝う誕生会を毎月行っており、園長が園児にプレゼントを贈呈し、素話をしたり、教員たちがサプライズの出し物を行っています。しかし、昨年度はコロナ禍によりクラスごとの実施とし、園長が話をする機会が無かったため、今年度は、新たな方法で実施しました。



一学期は年少組こそクラス単位での実施でしたが、年中・年長組は時間差を設け学年ごとに行いました。園児たちにとっては、みんなでお祝い

をし、また園長の話が聞けることができ、とてもうれしかったようです。感染者数が減少した十月からは、時間を短縮しつつ念願の全園児での誕生会を行いました。年少組にとっては、初めての場所での誕生会になりました。全園児で「おめでとう」の言葉でお祝いし、教員の出し物を見ることが

表現あそび

聖徳大学八王子幼稚園

本園では毎年二月に、一年間のまとめとして「表現あそび」と題して発表会を行っています。昨年度は、コロナ禍ということもあり、初めて学年毎に開催しました。今年度も、感染対策を踏まえた開催をとり、日々検討を重ねています。

通常の発表会では、年長組によるはじめの言葉よりスタートし、全園児で園歌と童謡を披露します。「子どもたちに童謡を」という故川並弘昭前理事長の思いを受け継ぎ、普段から童謡を大切に子どもたちに伝え、歌っています。その後、年中組による楽器遊び、年長組によるサカ

ホーンと合奏を披露します。年中組は、子どもたちの大好きな曲をメドレーにし楽しく演奏しました。年長組は名曲に挑戦し、テンポも速く難しいですが一人ひとりが真剣に取り組み、気持ちを一つにして頑張りました。



その後、満三歳児、年少組、年中組、年長組の順で絵本を題材とし表現あそびを披露していきます。年長組は、その年に

よってオペレッタや創作劇を行っています。どの学年の子どもたちも、友達と一緒にいろいろな表現を楽しむことができていることが、年長組になると、自分で考えたり感じたことを、友達と一緒に表現して楽しみ、イメージを豊かにしたり、感動する気持ちを持つことができるようになります。保護者の方には、全学年の子どもたちの姿を見ていただくことで、学年毎の成長を感じていただける良い機会となっています。

子どもたちの頑張る姿を見ると、教師も毎回目頭が熱くなります。そして、どの学年の子どもたちも表現あそびを経験し、みんな協力してやり遂げた達成感や満足感を味わい、また一つ成長していきます。

聖徳大学多摩幼稚園 絵本大好き

本園には、園舎の二階に絵本の部屋があり、子どもたちが好きな絵本を読んで過ごすことができますが、二階まで行かなくても自由に読むことができるように



と、玄関ホールの一部にも絵本コーナーを設けています。子どもたちが大好きな絵本や図鑑をはじめ、季節に合わせて絵本を入れ替えており、みんなが楽しみに利用しています。

利用の際は、まず子どもたちは「アンパンマンの人形の前で消毒をする」約束をしつかり守り、コロナ感染対策をして絵本コーナーに入ります。絵本コーナーは、保育室には置いていない本があることが魅力で、ひまわり組満三歳児)、桜組(年少児)も字は読めなくても絵を見て楽しみ、梅組(年中児)、松組(年長児)はじっくり読んでいる子どももいます。「今日はここまで、また明日読もう」「私はこんどこの絵本にしようかな」という声や、「この絵本面白かったよ」と友達に紹介をする会話が聞かれるなど、思い思いに楽しんでいるようです。

聖徳大学附属第二幼稚園 学内研究保育

聖徳学園には七つの幼稚園があり、保育の資質向上・保育内容の充実、および保育技術の向上を目的として昭和五十一年(一九七六年)より学内研究保育を輪番制で毎年実施しており、今年度で四十五回目を迎えました。

本園が担当となった今年度は、十一月二十七日(土)『幼稚園における主体的な活動についての研究』(自ら「やろうとする力」を引き出す環境づくり)というテーマで、数年前より取り組み進めてきた研究を発表しました。

今までは参加した先生方に公開保育として園児の姿教師の保育の様子を見ていただいていたりましたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、昨年から学内研究保育がオンラインによる発表となりました。今回、公開保育の代わりとして教師一人ひとりがテーマに沿った研究を、動画を含めてパワーポイントにまとめ上げ配信しました。また、新たな試みとして「teamsを活用し、グループごとのディスカッションをすることもできました。通信環境が不安定になり、思うように伝えられない場面もありました。



この日を迎えるまで教師は園児の発達・興味関心に気づきながら保育を進め、より深く幼児を理解するために工夫し、その結果、現場の教師から「研究保育は大変だったが『保育が楽しい』と感じられた」との感想が聞かれるなど、今回の研究保育では大きな成果をあげることができました。

が、一人ひとりの意見や情報を交換することがリアルタイムでできました。この日を迎えるまで教師は園児の発達・興味関心に気づきながら保育を進め、より深く幼児を理解するために工夫し、その結果、現場の教師から「研究保育は大変だったが『保育が楽しい』と感じられた」との感想が聞かれるなど、今回の研究保育では大きな成果をあげることができました。

聖徳大学附属幼稚園 いろいろな色?

「黄色がいっぱい!」「この葉っぱは赤とオレンジがある」「ピンクのお花かわいい」「紫のお花はちっちゃいね」「この木は緑だ」これは園庭で飛び交う園児たちの言葉。本園の園庭は彩り豊か、いろいろな色でいっぱいです。

十二月の園庭に最も溢れている色は「黄色」です。上を見上げれば黄色、地面に視線を落とせば一面に黄色の絨毯が広がっています。園庭を黄色一色に染めている正体は、八階の高さまである大イチョウの葉です。園児たちは葉をたくさん集めて花束にしたり、手にした大量の葉を思い切り投げ、

と、玄関ホールの一部にも絵本コーナーを設けています。子どもたちが大好きな絵本や図鑑をはじめ、季節に合わせて絵本を入れ替えており、みんなが楽しみに利用しています。

利用の際は、まず子どもたちは「アンパンマンの人形の前で消毒をする」約束をしつかり守り、コロナ感染対策をして絵本コーナーに入ります。絵本コーナーは、保育室には置いていない本があることが魅力で、ひまわり組満三歳児)、桜組(年少児)も字は読めなくても絵を見て楽しみ、梅組(年中児)、松組(年長児)はじっくり読んでいる子どももいます。「今日はここまで、また明日読もう」「私はこんどこの絵本にしようかな」という声や、「この絵本面白かったよ」と友達に紹介をする会話が聞かれるなど、思い思いに楽しんでいるようです。

シャワーにかけてかけあつたりと大興奮!「あれ?イチョウの葉っぱ形が違うよ!よく見ると扇形の葉と切り込みの入った葉の違いを発見する園児もいます。「何でかな?」「調べてみよう」とイチョウは園児たちが不思議に思ったり疑問に感じたりするきっかけを与えてくれます。一方、桜の木の落ち葉は、一つとして同じ色はなく、黄色、赤色、茶色の美しいグラデーションを描きます。また、花壇ではパンジーやキンセンカ、ストックなどがピンク、紫、黄色、オレンジ色の美しい花を咲かせ、みんなを癒してくれています。

四季折々で変化する色に囲まれ、園庭には園児たちの元気な姿と笑い声が広がっています。みんなを楽しませてくれる園庭の自然。園



聖徳大学附属成田幼稚園 サンタクロースがやってきた!クリスマス会

本園の園児たちにとって、一年で一番楽しみな行事といえ、やはりクリスマス会です。今年度は十二月十三日(月)に行いました。

十一月から、玄関な、園内にクリスマスマスの装飾をしていくにつれ、園児たちの間ではクリスマスマスの話題で持ちきりになりました。今年も本園恒例の(お手紙を貼っておくと届いた人)に届けてくれる「魔法の柱」に、年長松組の園児たちが「サンタさん、クリスマスかいてください」と書いた手紙を貼っておきました。



今今かかと楽しみにしていたクリスマス会当日は、全園児がウキウキわくわくした様子で登園してきました。遊戯室に全園児が集まり、「ジングルベル」を歌ったり、踊ったり、合奏をしました。また、園長先生からクリスマスやサンタクロースのお話を聞き、教員たちが動物に扮した劇を観ました。その劇の途中にシャンシャンと鈴の音がしてきて「サンタクロースがやってきました!」本園にサンタさんが来たんだ!と大喜びの園児たちに、そりに乗ってやってきましたサンタさんは、「お部屋にプレゼントを置いておいたよ」と話してくれました。クリスマス会が終わると足早に保育室に戻りプレゼントを見つけた園児たちは、「わあ!」と飛び跳ねるように近寄っていました。

クリスマス会が終わって

聖徳大学附属浦安幼稚園 訓練の大切さ

本園では、園児が安全な生活に必要な習慣や態度を身につけることができるよう、年間いろいろな災害を想定して避難・防犯訓練を行っています。

十二月七日(火)は、「強い地震があり、その後配膳室より火災が発生した」という想定で、全園児で避難訓練を行いました。



十二月九日(木)には、不審者対応訓練を行いました。保育中に突然園内放送でホイッスルの音が園内に鳴り響きました。これは、玄関から不審者が侵入した場合園庭に避難する合図です。園児たちは担任と一緒に機敏に園庭に避難することができました。



園児たちは「い・か・の・お・す・し」の約束を聞き、危険な時は先生に知らせ、教職員の話をよく聞いて行動することを確認しました。今後も園児が自分の命を守る事の大切さが身につくよう避難訓練を行っていきます。

令和4年度 大学院(春学期入学) 入試日程【通学課程】

Table with 3 columns: 日程区分, 願書受付期間, 入試日. Includes details for 聖徳大学大学院通学課程.

博士前期課程(一般入試、社会人特別入試、内部推薦入試、研究生入試) ☆児童学研究科、臨床心理学研究科、言語文化研究科、人間栄養学研究科、音楽文化研究科

Table with 3 columns: 日程区分, 願書受付期間, 入試日. Includes details for 博士前期課程(私立留学生特別入試).

博士前期課程(私立留学生特別入試) ☆児童学研究科、臨床心理学研究科、言語文化研究科、人間栄養学研究科、音楽文化研究科

Table with 3 columns: 日程区分, 願書受付期間, 入試日. Includes details for 専門職学位課程(一般入試、社会人入試、現職教員特別入試、内部推薦入試).

専門職学位課程(一般入試、社会人入試、現職教員特別入試、内部推薦入試) ☆教職研究科

Table with 3 columns: 日程区分, 願書受付期間, 入試日. Includes details for 聖徳大学大学院児童学研究科通信教育課程.

令和4年度 大学院(春学期入学) 入試日程【通信教育課程】

Table with 3 columns: 区分, 出願期間, 入試日. Includes details for 聖徳大学大学院児童学研究科通信教育課程.

令和4年度 入試日程

Table with 3 columns: 入試区分, 出願期間, 入試日. Includes details for 聖徳大学(女子)/聖徳大学短期大学部(女子).

※看護学部は実施しない <社会人入試・アスリート入試・帰国子女入試・留学生入試>

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes details for 社会人特別入試, アスリート入試, 帰国子女特別入試, etc.

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes details for 編入学・専攻科入試.

<一般選抜>

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes details for 一般選抜 and 実技特別選抜入試.

■専門学校(女子) <推薦入試・特別入試>

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, エントリー受付期間, 試験日. Includes details for 公募推薦入試, 保育所・幼稚園園長推薦入試, etc.

<一般入試>

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, エントリー受付期間, 試験日. Includes details for 一般入試.

■光英VERITAS中学校(共学)

Table with 4 columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Includes details for 光英VERITAS中学校.

★詳細は、各校の募集要項でご確認ください。

通信教育部(共学) 令和4年度 春学期生募集

お問い合わせ 047-365-1200(直通)

- 聖徳大学大学院 通信教育課程
●児童学研究科 児童学専攻
[博士前期課程/博士後期課程]
■聖徳大学 通信教育部
■聖徳大学短期大学部 通信教育部

通信教育部では、令和4年度春学期生の募集を開始しています。ぜひこの機会に、働きながら免許や資格が取得できる通信教育にチャレンジしてみませんか。

今年度は、オンライン(Zoom)による入試説明会と個別相談を実施しています。各回事前予約制となります。詳細はホームページ「NEWS」でご確認ください。

聖徳大学主催入学説明会・個別相談(オンライン)予約制

- 入学説明会 ※WebアプリZoomにて配信いたします。
開催日▶2月6日(日)・2月20日(日)・3月6日(日)・3月20日(日)・4月3日(日) 開催時間▶各日 13:00~13:45
●公認心理師入学説明会 ※WebアプリZoomにて配信いたします。
開催日▶2月20日(日)・3月20日(日)・4月3日(日) 開催時間▶各日 11:00~12:10
●入学個別相談 ※WebアプリZoomを使用したオンライン個別相談となります。
開催日▶2月5日(土)・2月12日(土)・2月13日(日)・2月19日(土)・2月26日(土)・2月27日(日)・3月5日(土)・3月12日(土)・3月13日(日)・3月19日(土)・3月21日(月・祝)・3月26日(土)・3月27日(日)・4月2日(土)・4月9日(土)・4月10日(日) 開催時間▶各日 10:00~15:00
※予約は30分ごとになります。ご希望の日時を選択してご予約ください。

春学期生願書受付期間

- ▶大学・短大 ~4月30日(土)【必着】 ※書類選考のみ
▶大学院(博士前期課程)
B日程:1月24日(月)~2月7日(月)【必着】 ※2月13日(日)試験

通信教育部HPより予約受付中
30日前から当日2日目の23:59までに
ご予約ください。
※インターネットにつながるPC・タブレット・スマートフォンをご用意ください(インターネット通信料はご本人様ご負担となります)

聖徳大学8号館ロビーに チョコレートのお城が出現!



12月中旬、大学8号館のロビーに、チョコレートのお城が出現しました。これは、短大・総合文化学科フードマネジメントコース・製菓の1年生が「チョコレート細工実習」で共同製作した作品です。

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート
長野県佐久市春日 2258-1 かすがの森

ご予約はお電話にて 電話:0267-52-2111
宿泊料金・プランはホームページをご覧ください。
http://www.kasuganomori.com/

白樺高原国際スキー場

営業期間:令和3年12月~令和4年3月 問合せ先:0267-55-6000

白樺高原国際スキー場には全長1260mのゴンドラリフトがあり、空中散歩気分が味わえます。目前には雪に覆われた百名山の一つである蓼科山、逆サイドには北アルプスと女神湖を望める抜群のロケーション。



セイトクの派遣会社だから安心

派遣登録募集中!! 幼稚園教諭、保育士、一般事務 お気軽にご連絡ください
セイワコーポレーション
東京都港区虎ノ門1-1-20
0120-525-126 般13-300726 13-ユ-300913

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大が懸念されています。

本紙に掲載しているイベント・行事については、今後中止・延期になる場合があります。事前に各学校や園にお問い合わせをお願いします。

読者の声

ご意見・ご感想の宛て先

学園広報紙聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。今後も内容の充実をめざしてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ 第118号
発行人/川並 弘純 編集/総務課

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)